



甲府市立東小学校
東小たより

令和5年度 7月号 校長 饗場 宏

上の写真は、左から、学校のなす、あさけ：枝豆収穫祭、湯田交番お巡りさん来校、6年：修学旅行展での様子です。

夏休み 地域・家庭で育つ子どもたち 変わらぬ暖かな見守りを
地域とともにある東小学校



夏休みを間近に控え、児童は、ドキドキ・ワクワクしながら残りの一学期を過ごしていることと思います。日頃の学校生活とは違う毎日が訪れることを心待ちにした記憶は、大人になっても消えることはないでしょう。

夏休みは児童の主な生活の場が、家庭や地域となります。ご家庭や地域において、学校生活では味わえない体験や経験、ドキドキ・ワクワクが実現するような時間を重ねていってほしいと願っています。

一方で、マスコミなどで「夏休み中、栄養面で給食がなくなる心配」「生活リズムが崩れ、ゲームや動画に夢中になってしまう心配」などの話題が取り上げられています。これらの心配がもとで夏休み不要論もあるようです。おそらく、教育はすべて学校が担うべきという発想からの意見なのでしょう。しかし、教育の場、子どもが成長する機会、学校だけではありません。「社会教育」「家庭教育」という言葉が意味するように、子どもは多様で適切な環境の中で、より多くの人とつながり、また大切な人との絆からかけがえのないものを学んでいく存在でしょう。夏休みは、地域や家庭で育つ絶好の機会です。変わらぬ暖かな見守りをお願いします。そして、安全で有意義な夏休みを過ごした児童に2学期に会えることを楽しみにしています。

今、本校のプレイルームには、児童会で取り組んできた「輝く心の花」(写真)が咲いています。1年生から6年生までが、友達の良さや活躍を認め合い、それへの感謝などを花型の紙に書いて伝え合うものです。人の良さを見つける目・感じる心、私も大切にしていきたいです。



輝く心の花

エピソード

登校中につまずいて転んでしまった3年生を気遣いながら、手を支えながら、保健室まで一緒に付き添ってくれた6年生の男子。

やさしさはもちろん、見過ごさずに行動した勇気の素晴らしさ。

きっとこの3年生も、やさしさと勇気ある行動ができる上級生になるのでしょう。

エピソード

朝、正門で児童を迎えています。最近、目を見て挨拶する子、会釈して挨拶する子、大きな声で挨拶する子がとても増えてきました。

ご家庭でのお声かけによる成果、児童会リーダー達の呼びかけなどの頑張りの成果だと思えます。

夏休みは、街中でも挨拶を交わると良いですね。

輝く心の花

上の花には、「〇〇さんへ」と「◇◇より」とあり、そして、
◆いつも「おはよう」っていつてくれてありがとう。

◆いつも国語をがんばってるね。ひらがなじゃうずだね。

◆いつも私に元気をくれてありがとう。

など、書かれています。

先日、湯田交番のお巡りさんが来校してくださいました。登下校の見守りなど、改めて、お願いいたしました。

児童の笑顔と未来のため、地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思えます。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。